



「環境の日」ひろしま大会に出展 家の断熱と食品ロス削減を啓発

6月8日(土)に基町クレド(広島市中区)において、「環境の日」ひろしま大会が開催され、当協会は、実行委員会に参画するとともにブース出展を行いました。

当協会は、家の断熱をはじめとした省エネ省資源に関する展示のほか、自転車発電体験、食品ロスに関するクイズを交えた当ゲームを実施しました。参加者には、ガチャガチャに挑戦していただき、缶バッジやお菓子のほか、当たりとしてエコバッグやステンレスストロー、食品ロス対策マグネットをプレゼントしました。

また、ブース内では食品ロスのタイプ(完璧、買いすぎ、捨てすぎ、食べ残し)診断も実施し、シールアンケートの結果「買いすぎタイプ」が最も多いという結果になりました。

ガチャガチャの効果もあり、たくさんの方々に楽しみながら体験し、学んでいただくことができました。

今後も、当協会が所管するさまざまな学習教材を活用し、イベントなどでの啓発を実施していきます。

(地域活動支援センター)



窓の断熱に関するパネルや模型を展示(上)、食品ロスのクイズは的あてゲームを取り入れて子どもたちに人気(中)、ブースで学ぶと、ご褒美のガチャガチャ(下)

TEAMMATEひろしま総会

プチプチ®のループリサイクル学ば



プチプチ®の水平リサイクルを提案する川上産業の大橋部長(上)、プチプチに触りながらリサイクルについて学ぶ参加者(下)

5月17日にTEAMMATEひろしま総会が開催されました。12団体18人が参加して前年度の振り返りと、今年度の活動について協議しました。

今年度のTEAMMATEひろしまの事業としては、昨年度に引き続き、情報の提供とTEAMMATEひろしまの交流を深めることを目的に、年に3回、「学習交流会」を実施します。

第1回目は「ツールづくり」で、参加者が泊二日でオリジナルツールを完成させます。作製後は、TEAMMATEひろしまオリジナルツールとして整備し、活用する予定です。

第2回目は「断熱D」として、川上産業株式会社の大橋部長、佐々木蘭さんによる「気泡緩衝材プチプチ®」でリサイクルを学ばう」と題した講演を行いました。

「ワークシヨップ」です。住まいに関するエネルギー使用量の削減を目的に、ホームセンターで安価で材料を購入することができ、自分でDIYできる窓の断熱の取り組みを研究開発します。

第3回目は「EV車エコドライブ」で、ガソリン消費量の削減を目的に、EV車とエコドライブについて学習します。

また、情報提供として、川上産業株式会社の部長大橋さん、佐々木蘭さんによる「気泡緩衝材プチプチ®」でリサイクルを学ばう」と題した講演を行いました。

健康ひろしま21(第3次)を広島県が策定 女性の健康づくりを重点的に取り組み

広島県は、健康推進計画「健康ひろしま21(第3次)」を令和6年3月に策定しました。

この計画は、健康増進法第8条に基づいて策定が義務づけられているもので、県民が健康づくりを推進するための基本方針です。第3次計画の期間は、令和6(2024)年度から令和17(2035)年度までの12年間となっています。

第3次計画では、第2次計画に引き続き「健康寿命の延伸」を総括目標に掲げ、健康寿命の全国平均を上回り、平均寿命の延び以上に延伸させることを目標としています。

特に、女性の健康寿命が全国と比較して低位(令和元年度の全国平均は75.38年、広島県は74.59年で43位)であること、健康づくりに関する指標などで女性が男性と比べて悪化している項目が多いことなどを踏まえ、「女性の健康づくり」に重点的に取り組む計画となっています。

具体的には、20～64歳の女性では、生活習慣の改善を促す取り組みを強化することによる「身体的不調の改善」を掲げています。

また、20～40代前半の若年層には、精神的な不調を原因とした日常生活の問題の割合が多いことから、「精神的不調に対するケア」を、65～79歳の高齢層には、骨粗しょう症による骨折リスクの軽減のための「介護予防の推進」を掲げています。

その他、主要な取り組みとして、「働く世代の健康づくり」「生活習慣病予防対策」「介護予防の推進」「県民総ぐるみの健康づくり」が挙げられています。

公衛協で取り組む健康づくり事業も、広島県や各市町で実施される健康づくり事業と連携し、広島県全体で健康寿命の延伸を目指していきましょう。

(地域活動支援センター)